

# 新潟本社行動計画の取り組み状況について

2024年度 第3四半期進捗報告



2025年3月3日

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社

1. 安全性向上の取り組み
2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み **update**
3. 防災支援の取り組み
  - ①緊急時の初動体制
  - ②新潟県原子力防災訓練への協力
4. 産業活性化の取り組み **update**
5. 地域貢献の取り組み
  - ①長岡技術科学大学との共同研究 **update**
  - ②地域行事への参加 **update**
6. 傾聴と対話の取り組み
  - ①コミュニケーションブース **update**
  - ②県民の皆さまへの説明会 **update**
  - ③発電所視察対応 **update**

## 2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み (2/2)

### <新潟県技術委員会における柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認>

以下に2024年10月～12月に開催された新潟県原子力発電所の管理に関する技術委員会の実績を示します  
(下線部が当社の対応実績)

#### ■ 2024年度第4回新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会(2024年11月6日開催)

- ▶ 柏崎刈羽原子力発電所6号機 設計及び工事計画認可について、認可に至るまでの申請履歴及び6、7号機の詳細設計において差異のある主な設備(コリウムシールド、ブローアウトパネル、静的触媒式水素再結合器、大物搬入建屋)について、その差異を説明しました
- ▶ 県事務局から「柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認 (案)」が示され、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認事項22項目のうち、「耐震評価」を除く21項目の記載について確認がなされました

#### ■ 2024年度第5回新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会(2024年12月26日開催)

- ▶ 柏崎刈羽原子力発電所6号機 設計及び工事計画認可について、6、7号機で機器仕様に特徴的な差異のある11設備(格納容器圧力逃がし装置の遠隔操作位置に設置する遮蔽材、原子炉格納容器の電気配線貫通部リング、使用済燃料貯蔵ラック、止水ダンパ等)を示し、機器仕様に差異はあるものの系統設計として大きな差は無いことを説明しました
- ▶ 県事務局から、前回技術委員会における確認結果を反映した「柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認 (案)」が示され、前回技術委員会で残件となっていた「耐震評価」について確認がなされたほか、前回技術委員会で確認結果の反映状況の確認がなされました

## 4. 産業活性化の取り組み 新潟工科大学との協働の取り組み

- 新潟工科大学における「東京電力柏崎レジリエンスセンター地域防災向上に向けた協働検討プロジェクト」の参加学生が、成果報告会にて企画・提案した防災キャンプを10月3、4日に渡り同大学構内のキャンプフィールドで開催し、イベント企画の有効性を検証しました
- イベントには学生をはじめ、協賛企業や当社を含め総勢43名が参加しました

### <防災キャンプの検証に向けた実施内容>

- ・災害時の居住空間設置体験・・・テントの設営、段ボールベットの設置
- ・学生が企画・提案したイベントコンテンツの実施・・・車中泊体験、非常時給電体験、薪割り体験、モルック等
- ・防災食体験・・・紙パックを燃やす事で加熱するホットドックづくり

### <段ボールベット設営>



### <薪割り体験>



### <紙パックで加熱するホットドック>



- 参加後のアンケートから得られた課題を整理し、東京電力柏崎レジリエンスセンター運開後に実施予定のイベントへ反映します

## 5. 地域貢献の取り組み ①長岡技術科学大学との共同研究

- 2024年10月9～11日、東京ビックサイトで開催された危機管理産業展2024に、長岡技術科学大学との共同研究で開発した、ウォーターチェンジャー®とブレーカーキットが新潟発の防災商材として、新潟県のブース「にいがた防災ステーション」で展示されました
- 2024年10月19～23日、長岡技術科学大学地域防災実践研究センター、公益社団法人中越防災安全推進機構の主催で、家の中のブレーカーを切り、電気の無い生活を体験する「ブラックアウト大作戦」を、中越地震20年の節目に、長岡市の共催で開催しました
- 2024年12月10日、企業や大学等の技術シーズなどを紹介し、出展者同士を繋げる「Matching HUB Nagaoka」が長岡市で開催され、長岡技術科学大学地域防災実践研究センターが、5つの研究テーマを出展しました
- 令和6年度県知事表彰「技術賞」を受賞したウォーターチェンジャー®(ユニトライク社の商品名:バイオランドリー)が新潟県庁 行政庁舎1階県民ホールに12月2～27日まで展示されました



- ✓ にいがた防災ステーションでは、県内の最先端技術を活用した防災商材や県内事業者で開発、製造している災害時にも役立つ商品を展示しました。
- ✓ 県内企業等10社程がにいがた防災ステーションから出展しました。



- ✓ 本企画は、自主的に停電の状況を作り出し、停電下で食事をとることで、災害対応力を高める「防災ワクチン®」の考えのもと実施しました。
- ✓ 参加登録者数190名、うち長岡市在住の方、100名が本企画に参加しました。



- ✓ 共同研究成果の社会実装化を目指し、以下の展示物を出展しました。
- 1：介護施設のIoT避難支援システム
  - 2：達人の技伝承支援システム
  - 3：ワイヤレス給電システム
  - 4：ウォーターチェンジャー®
  - 5：防災データ羅針盤



- ✓ 長岡技科大と東電HDの共同研究で開発した微生物を使った水の浄水装置「ウォーターチェンジャー®」は、2022年に新潟県内企業のユニトライク社にて商品化されました（商品名：バイオランドリー）
- ✓ 2024年1月1日に発生した能登半島地震被災地でも活用、2024年11月に令和6年度県知事表彰「技術賞」を受賞しました。

## 5. 地域貢献の取り組み ②地域行事への参加

## ＜参加実績＞

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
棚田みらい応援団	10月5日	・十日町市三ツ山地区の稲刈り	3名
魚野川河川清掃（魚沼漁協）	10月6日	・湯沢、塩沢地区の河川清掃作業	2名
第22回むらかみ宵の竹灯籠まつり	10月12日	・竹灯籠の配置、ローソクの芯立て、竹灯籠への点火	4名
グルっとまるごと栄村サイクリング2024	10月13日	・会場交通誘導、選手のコース誘導	6名
おぢやウォーキング	10月14日	・駐車場内車両誘導、車両管理	4名
秋のウォーキングイベント 「ハッケン。ボウケン。オヂヤ パシャ」	10月14日	・エリア内の車両での巡回・誘導	2名
谷根川さけの森づくり	10月19日	・植樹作業	5名
第22回柏崎マラソン	11月3日	・駐車場内車両誘導、コース上の交通整理	22名
第12回 魚沼コシヒカリ紅葉マラソン	11月10日	・給水所運営補助	2名
柏崎市魚市場ミニおさかな祭り	12月1日	・駐車場誘導、物販	12名

## 6. 傾聴と対話の取り組み ①コミュニケーションブース

- 新潟県内において2015年から「東京電力コミュニケーションブース」を開催し、皆さまからの疑問やご意見など、さまざまな「声」をお聴きしています。これまで、県内全市町村において166回開催し、36,468名にご来場いただきました
- 2024年4月からはコミュニケーションブースの開催頻度を増やし、一人でも多くの方に柏崎刈羽原子力発電所における安全性向上の取り組み状況等についてお伝えしています
- 引き続き県民の皆さまのご不安や疑問に丁寧にお答えするとともに、いただいた貴重なご意見については、今後の発電所運営に活かしてまいります

開催日	市町村	場所	来場者数	開催日	市町村	場所	来場者数
10月5～6日	刈羽村	サービスホール	583名	11月3日	刈羽村	刈羽村文化祭 サイエンスフェス会場内	149名
10月12～13日	妙高市	新井ショッピングセンター COA	122名	11月12～13日	佐渡市	佐渡セントラルタウン	63名
10月13日	刈羽村	とりのぼ オータムフェスタ会場内	101名	11月23～24日	小千谷市	イオン小千谷店	345名
10月19～20日	見附市	道の駅パティオにいがた	331名	12月7～8日	長岡市	道の駅ながおか花火館	345名
10月20日	刈羽村	勝山地区ふれあい まつり会場内	29名	12月14～15日	上越市	直江津ショッピングセンター エルマール	525名
11月1～2日	弥彦村	おもてなし広場	87名	12月14～15日	刈羽村	サービスホール	284名
				合計	8市町村	11会場	2,964名

- 会場で頂いた声
- ✓ コミュニケーションブースに来るまでは何も知らなかったし、福島のこともあり怖いと思っていたが、いろいろな安全対策をしていることが分かり安心できた。発電所見学にも行って見たい。
- ✓ 以前、仕事で発電所に行ったことがあり、妻にも見てほしいと思い発電所見学バスツアーに参加した。
- ✓ 柏崎でも大雪で大渋滞が起きた。そんな中、避難できないのではないか。
- ✓ 発電所の状況について所長から詳細に説明が聞けて良かった。
- ✓ 書類紛失や工事未完了など東電の管理はなっていない。

## 6. 傾聴と対話の取り組み ②県民の皆さまへの説明会

update

- 当社は、新潟県内の皆さまと直接お会いしてご意見を拝聴するとともに、柏崎刈羽原子力発電所の安全性向上の取り組み状況や、エネルギーミックスの重要性について多くの方に説明し、皆さまのご不安や疑問にお答えすることを目的とした「県民の皆さまへの説明会」を開催しています
- この一環として、2024年12月21日に柏崎刈羽原子力発電所の安全性向上の取り組み状況の説明に加え、日本のエネルギー事情や放射線に関する有識者によるトークセッションや質問回答セッション等を織り交ぜた「東京電力フォーラム」を開催しました
- 当社は、今後もさまざまな機会を通じて、新潟県内の皆さまのご意見を拝聴するとともに、柏崎刈羽原子力発電所の安全性向上の取り組みについてお伝えしてまいります

開催日	場所	参加者数
4月2日	新潟県民会館(県民の皆さまへの説明会)	74名
4月4日	リージョンプラザ上越(県民の皆さまへの説明会)	39名
4月6日	長岡リリックホール(県民の皆さまへの説明会)	146名
4月9日	見附市文化ホール アルカディア (県民の皆さまへの説明会)	90名
12月21日	メイン会場：ハイブ長岡 サテライト会場 ・新潟大学駅南キャンパスときめいと ・上越市レインボーセンター	長岡会場 379名 新潟会場 57名 上越会場 22名 合計 458名



「東京電力フォーラム」質問回答セッションの様子

### ■ 会場で頂いた声

- ✓ トークセッションでの専門家の話の内容が分かりやすかった。エネルギー事情がとてもよく分かった。
- ✓ エネルギーや放射線治療について、とても分かりやすい話だった。
- ✓ 屋内退避の有効性がよく分かった。
- ✓ 再稼働は福島事故処理が確立してからにしてほしい。原子力発電は地元としては不安である。

# 6. 傾聴と対話の取り組み ③発電所視察対応

- 福島第一原子力発電所の事故をふまえ、新潟県内をはじめ多くの皆さまに、柏崎刈羽原子力発電所を視察いただきました（2011年以降の視察実績は累計で約13万2千人）
- 視察では、「安全対策に対する理解が深まった」「取組みを多くの人に伝えるべき」との声もいただいています
- 一人でも多くの方に柏崎刈羽原子力発電所を視察いただけるよう、コミュニケーションブース等の対面の場に限らず、様々な媒体でのコミュニケーション活動を通じてご案内してまいります

## 【発電所視察者数】

（2024年12月31日現在）

